

県内小学校での「落花生栽培体験学習」

落花生はふしぎな植物です。

花が咲いたあとどのように実をつけるか、児童の皆さんは興味をもって観察をしていたのではないのでしょうか。

花の咲いたあとから子房柄（しぼうへい）という根のようなものが何十本も地面の方にのびて、土のなかに実をつけたのにはおどろいたことと思います。

私ども（公社）茨城県穀物改良協会では、落花生というふしぎな植物の栽培体験をとおして、児童の皆さんに「食」への関心をもってもらうことを目的としてこの取り組みを行っています。

毎日の食卓にあがる食材が育った大地、水、空気、太陽、そして季節や風土の自然に対して、児童の皆さんに興味をもってもらえればうれしい限りでありますし、これからも大切にしていきたいものです。

平成22年度 県内40市町村 151校

平成23年度 県内38市町村 134校

平成24年度 県内40市町村 115校

で取り組まれました。

落花生収穫のあと多くの児童の皆さんから感想文を寄せていただきました。落花生栽培体験に参加された児童の皆さんから、土にもぐる落花生のふしぎ、土の中でさやができること、1株当たりのさやの数の多さ等自然によって育まれる作物の素晴らしさ、命のふしぎさを感じられる感想文が多く寄せられたことに感銘を受けました。

公益社団法人 茨城県穀物改良協会